

スポーツ きみが主人公

スポーツのひろば 2016 7・8

No.489

ホームページ <http://www.njsf.net>

神奈川県連盟設立 50周年記念事業

仏・韓・日 つなぐスポーツ交流

月例マラソン／横浜駅伝／ウォーキング etc

徳島
お遍路さん
コースウォーキング

2016 反核平和マラソン
START!

第39回
全国選抜軟式野球大会

特集

どうなってるの？ 五輪開催

2018平昌 & 2020東京

ウォーキング日本縦断 世界遺産 奥州平泉を歩く

スポーツ のひろば

2016
No.489

7・8
月号



表紙写真 by 西條晃
第28回横浜駅伝

EDITOR IN CHIEF
佐藤信樹

SENIOR EDITOR
西條晃

EDITORIAL STAFF
青木太郎／一柳英男／大垣晶子
桂伸也／岸佳子／倉沢知裕
小林一美／萩原栄一／福島宏子
細野道秋

WRITER
神田孝／佐藤文孝／園川峰紀
永谷祐一／中村哲也／向田奈保
村山正三／唯根大尚

ILLUSTRATOR
いはいえみ

SPECIAL THANKS
小柴晃／海野茂

定期購読・広告掲載などに関する
お問い合わせは
TEL 03-3986-5401

新日本スポーツ連盟の情報は
ホームページで
<http://www.njsf.net>

新日本スポーツ連盟 検索

C O N T E N T S

特集

4 神奈川県連盟設立50周年記念事業
仏・韓・日 つなぐスポーツ交流
月例マラソン/横浜駅伝/ウォーキング

16 どうなってるの？ 五輪開催
2018平昌&2020東京

2018平昌冬季オリンピックと環境破壊問題 羅永一

2020東京オリンピック・パラリンピック会場整備の現状と課題 和食昭夫

2020東京オリンピック・パラリンピック関連施設を意義あるものにするために
新建築家技術者集団東京支部 新建築家技術者集団全国常任幹事会

連載

2 かわら版・ほろ酔いくその6〉 文・写真=小林一美
8 アングル 文=桂伸也/永井博
38 FIELD 文=和食昭夫
43 スポーツをする人のための 元気が出るごはん〈15〉 文=桑名令子
47 みんなで歩こう ウォーキング日本縦断 〈53〉
世界遺産 奥州平泉を歩く 文=菊地悦子

記事

1 Photo Essay 文・写真=西條晃
3 私のスポーツライフ 佐山福繁さん
9 Opinion バドミントン違法賭博問題と関連して 文=大野文明
24 第39回 全国選抜軟式野球大会
26 Active Plaza 各種目からのレポート
30 連盟NEWS 2016反核平和マラソンSTART!/熊本支援
32 徳島 お遍路さんコース ウォーキング 文=野口信彦
34 各地のスポーツ祭典結果/大会情報
40 会報ピックアップ 構成=萩原栄一
42 QUIZ & PUZZLE
44 THE VOICE 読者のひろば
46 コーヒーブレイク ファイナルスポット 作=カメタロー
48 北から南から
50 加盟クラブ紹介 町田シャスネージュ/若葉クラブ/いるか/努助子
52 マンガ「ゆるゆるスポーツライフ」歴史編 作=黒沢まゆみ

Photo Essay

西條 晃

速く走るだけが
駅伝じゃない
「あつ、鉛筆だ！」って
見てもらえるのも楽しみ
ナイスパフォーマンス賞を
もらえるともっと嬉しい



第28回横浜駅伝

2016年4月29日
横浜市港北区・樽町公園

毎年、500チーム近くのエントリーがあり、約4000名が集まる駅伝大会。仮装を楽しむ参加者も多い。ゴール後は、チームの垣根を越えた交流も。

NJSF Kanagawa

神奈川県連盟設立50周年記念事業 仙・韓・白つなぐスポーツ交流

文〓佐藤静雄（神奈川県ランニングセンター）

50th Anniversary

神奈川県連盟は今年、設立50周年記念事業として、①50年のあゆみ（冊子）の作成、②同DVDの作成、③横浜駅伝と月例マラソンに海外からランナーを招待する国際活動、④記念レセプションの四事業を計画しています。今回は、4月22日～5月1日に行われた国際交流活動についてレポートします。

海外ランナー（仏・韓）招待までの経緯

神奈川県ランニングセンター（神奈川RC）では、これまでFSGTからツールド・ペイ・ド・コー・ロードレース（TPC）に延べ10名以上が招待されました。招待された

連盟員はすべて、現在も各月例マラソンの運営に中心的に関わっています。

昨年、「福島～東京～広島～長崎1800km反核平和マラソン」で、FSGTから参加したルルージュ・クロードさんに聞いて情報収集したところ、私たちが国際交流を予定している時期（4月22日～30日）は重なっている行事がなく、都合が良かったとのことでした。

さらには、親しく交流しているキム・ドクチンさんが韓国体育市民連帯の共同代表のひとりとなったことを知り、神奈川RC運営委員会で指名招待者とすることを決定しました。

したがって、FSGTから3名、

韓国体育市民連帯からキム・ドクチンさんを招待するという内容で、全国連盟理事長名と神奈川県連盟理事長名で正式な招待状を送ることとなりました。

横浜駅伝と月例マラソンに参加

招待者には、毎日の朝食時刻、ピクアップ時刻、当日の主な予定などを記載したタイムテーブル（英文）を渡しました。これは、私たちがTPCに招待された時にどうしても必要と思ったことで、それがわかっていれば、自由に行動ができたからです。招待者の入国日や帰国日、その予定時刻の変更等も生じた



横浜駅伝 国際交流チーム

ため、タイムテーブルの変更、差し替えも途中でありました。

4月29日の横浜駅伝には、日仏韓・国際交流チーム（No.563）として混合の部（2区、4区、6区は女性区間）にエントリー。結果として、全体総合115位（完走490チーム）、混合の部23位（エントリー

MEMBER



ムラド・マズージイ (42)

FSGTパリ委員会執行委員として、各種目(柔道、サッカー、卓球、バレーボール、ランニングなど)の運営役員として活躍のほかに、FSGT本部の国際交流活動に取り組んでいる。2005年の広島～長崎反核平和マラソンにも参加している。



アナイス・ケムネー (25)

病院の職員。8歳から陸上競技を開始、クロスカントリーでは何回もチャンピオンになっている。10km:36分07秒、フルマラソン:2時間58分59秒の記録を持つ。ジャン・イブ・ケムネーの娘。



ジャン・イブ・ケムネー (44)

消防士でジュニア時代、クロスカントリー大会で2回優勝した経験を持つ。セヌ=サン=ドニ委員会のフランス・トレイン・プレイ陸上クラブで活躍している。



キム・ドクチン (63)

韓国体育市民連帯(CNJS)共同代表。2010年及び2015年東京～広島～長崎1500km反核平和マラソン走破。韓国での平和マラソンを主体的に企画・運営、自ら先頭に立って実行している。

横浜駅伝



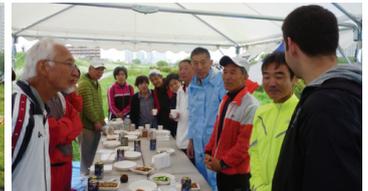
歓迎集会

マズージイさんが反核平和マラソンに参加したことを紹介する今野雄三さん→



日仏韓・国際交流チーム 記録

1区(10km)	キム・ドクチン	47分45秒(区間48位)
2区(3km)	アナイス・ケムネー	11分31秒(区間2位)
3区(5km)	山田正作	23分07秒(区間35位)
4区(8km)	穂刈麻衣	33分15秒(区間10位)
5区(3km)	ジャン・イブ・ケムネー	13分23秒(区間29位)
6区(5km)	藪並郁子	22分06秒(区間10位)
7区(8.195km)	ムラド・マズージイ	37分04秒(区間38位)



↑テントでの交流会

月例川崎マラソン

当初の招待日程は4月22～30日の予定でしたが、マズージイさんは4月21日羽田空港着の連絡があったことから、21日に羽田へ出迎えに行きました。ところが、待てど暮らせど現れませんでした。実は、22日來日のミスであったことが後に判明したのです。

日程変更とその対応

参加者数や事前準備のスタッフ数や当日の役員数(駅伝も含めて)について、こまめにノートを取っていました。月例マラソン終了後は、参加者とのワンコイン懇親会で盛り上がりつつあったのが、印象的でした。

4月24日に開催された月例川崎マラソンには雨天にもかかわらず、キム・ドクチンさんとムラド・マズージイさんが参加。また、キム・ドクチンさんは、月例湘南マラソン(5月1日開催)にも参加しました。マズージイさんは、子どもたちの

164チーム)でした。開会式で国際交流チームが紹介され、さらにスタート前には1区のキム・ドクチンさんがアナウンスされ、多くの参加者から拍手を受けていました。それぞれ交流を中心に楽しく走ったとのことでした。

スケジュール

- 4/22 マズージイさん、来日
- 4/23 キムさん、来日
歓迎パーティー
- 4/24 月例川崎マラソン参加
終了後、参加者との交流
- 4/25 東京観光
(浅草、隅田川、皇居周辺)
- 4/26 横浜市内観光
(三吉演芸場など)
ケムネー親子、来日
- 4/27 日中鎌倉観光
鎌倉の夜を案内
- 4/28 午前自由行動、午後秋葉原等
全国連盟表敬訪問・懇親会
- 4/29 横浜駅伝(混合の部)に
国際チームとして参加
サヨナラパーティー
- 4/30 マズージイさん帰国
ケムネー親子、東京観光
- 5/1 キムさん、湘南月例マラソン
に参加
ケムネー親子、帰国
キムさん、帰国

鎌倉ウォーキング



大仏の前で↑

←ケムネー親子

三吉演芸場↓



東京観光



↑隅田川クルーズ



→中華街で



横浜ウォーキング



対策としては、Eーチケットのコピー(出発日時、空港名、到着日時、空港名が記載されている)を送付してもらうことも一案ですし、緊急連絡先の確認も事前に手配する必要があります。

ケムネー親子の来日が、26日と遅れたのは休暇取得の関係でしたが、この変更は1週間ほど前に把握できたことから、ホテルのキャンセルも間に合いました。

◆ ◆ ◆
キム・ドクチンさんは、成田が遠いことから羽田空港に変更して、帰国も月例湘南マラソンに参加するために1日延長しました。急な計画であったにもかかわらず、月例湘南の参加者はとても喜んで迎えてくれたのが幸いです。

◆ ◆ ◆
今回の事業を進めるにあたり、ほぼ1年前から計画・立案してきました。全国連盟の全面的な指導・協力を得て、また神奈川県連盟の種目を超えた、例えば各ウォーキングクラブのメンバーや役員の財政的な協力も含めた努力によって、成功裏に終了することができたものと思います。関係各位に心から感謝し、この経験が今後の地域連盟間の国際交流活動の参考になれば幸いです。

ピョンチャン

2018 平昌冬季オリンピック(韓国)と環境破壊問題

羅永一(ナ・ヨンイル ソウル大学教授・韓国市民連帯共同代表)

新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所 第3回研究会(2016.3.22)より

2018年の平昌冬季五輪を前に、今年2月から28のテストイベント国際大会が開催されました。大会運営のすべての面を点検し、準備は最終段階に突入しています。

今回は、平昌冬季五輪招致以降、政治、経済、社会、環境、スポーツにわたって何が問題なのかを検討し、韓国体育市民連帯をはじめとする市民団体の闘争の経過と成果、そしてどのような対策が必要なのかについて報告します。

成功したソウル五輪 失敗しそうな平昌冬季五輪

2018年平昌冬季五輪は3回の挑戦の末、11年7月に招致が決定しました。アジアでは3番目、大韓民国では最初の冬季五輪です。

当初、「平昌冬季五輪の経済効果は21兆ウォン(約2兆円)」と宣伝されていました。ところが大会総予算は、8兆8196億ウォン(11年)から13兆4851億ウォン(15年)と4年間で5兆ウォンも膨れ上がっています。また、江原道(平昌を含む地域)の年間予算は約3兆ウォン、財政自立度は18.7%で、全国17地方自治体のうち15位、負債比率は4位というのが実態で、地方都

市としての財政は厳しいものがあります。

以前、日本の経済専門家から「長野は五輪以降、競技場の維持管理費などで毎年15億円の赤字を抱えている。冬季五輪は地方経済に悪影響を与えている」という話を聞いたことがあります。大会終了後、スタジアムをどういうふうに使っていくのが問題の核心で、長野五輪のケースと似ていると思います。

今のところ、アルペンスキー競技場、スピードスケートセンター、ホッケーセンター競技場などの施設の事後活用が未定です。それらの管理費は、年間100億ウォン余に達すると予想されています。

国は、国民体育振興法改定法案で、平昌冬季オリンピック施設の事後管理機関をソウルオリンピック記念国民体育振興公団に一元化するとしています。これに対して、韓国体育市民連帯と環境団体などは、「莫大な施設管理費を、政府は国民に押し付けようと『見せかけ』をしている」と指摘しています。

分散開催の動き

これまでの政治・経済問題と関連して、また競技場建設との関連論

議の中で、最も重要なのは分散開催問題です。

14年12月、「朝鮮新報」は南北(韓国・北朝鮮)共同開催方式を提案。15年1月には、江原道知事が「一部種目に限って北朝鮮側が要求する南北分散開催を考えることができる」と発言します。また、韓国北東部の茂朱(地域)郡は、アルペンスキー滑降競技場の誘致に乗り出しました。韓国の正義党は、国内分散開催を基本とし、南北分散開催を主張しています。

分散開催が議論される背景には、14年12月のIOC臨時総会で承認された「アジアエンダ2020(オリンピック改革案)」があります。IOCは、既存施設を再使用したり仮設の建物を使用することを奨励し、開催都市以外の地域でも競技が開催できることを提言したのです。

しかし、朴槿恵大統領は分散開催を一蹴。平昌五輪組織委員長も、「天災地変がない限り、分散開催はない」と記者会見しています。

冬季オリンピックは、ビジネス的には損をするイベントです。2022年冬季オリンピック招致のとき、オスロ(ノルウェー)、クラクフ(ポーランド)、リヴィウ(ウクライ

ナ)が、立候補の後になぜ断念をしたのか。IOCがアジェンダ2020をなぜ発表したのかを考えるべきです。

2022年北京冬季五輪では、アルペンスキー競技場は北京から190kmも離れた張家口(チョウカコウ)で開催します。88年のソウル五輪の時も、ヨットは釜山(プサン)で開催しました。ほとんどの競技を平昌と江陵(カンヌン)で実施し、1〜2種目を茂朱で開催すること



平昌冬季五輪アルペンスキー競技場建設による加里旺山の環境破壊への反対運動
「3日間のスキー競技と500歳の原生林、どちらが大事なのか？」

で「分散開催」ということができるのでしょうか。

平和友好を目的とすることを前提に、北朝鮮と分散開催することも検討できるでしょう。今は、認識の転換が必要な時だと思っています。

競技場建設により生じた環境破壊問題

五輪組織委員会は、アルペンスキー競技場の標高差800mを満たすため、生態景観保全地域である

加里旺山(ガリワンサン)中峰に競技場を建設することにしました。これが、大きな環境破壊問題をひき起こしています。

加里旺山は、標高1561m。長野(標高2696m)、ソルトレーク(標高2917m)、トリノ(標高2613m)、バンクーバー(標高2181m)などと比べても低い山です。ここは500年前の姿のまま残っている原生林で、環境保護のために一般人の立ち入りを制限してきた区域です。

14年、韓国の市民団体「緑色連合」が問題提起し、工事の中断を要求しました。その後15年になって、体育市民連帯、スポーツ文化研究所、全国体育教師会などの団体が一步遅れて対応。お互いの連帯が遅かったのが悔やまれます。もし、オリンピック準備段階で市民団体との協力があれば、国内外のいくつかの団体が協力していれば、加里旺山の環境破壊は抑えられたでしょう。

シドニー五輪での組織委員会とグリーンピースの協力は良い事例です。シドニー市は環境団体であるグリーンピースを参加させ、「グリーンオリンピック戦略」としてライバルである北京を破り、招致に成

功しました。シドニーは、環境オリンピックを刻印させた最初の大会です。

◇ ◇ ◇
これまで、良識ある研究者とマスコミが、平昌冬季五輪の予算や環境破壊について問題提起をしてきました。現在も、緑色連合などの環境団体と組織委員会および自治体との駆け引きは続いています。しかし政府、組織委員会および自治体は、ほぼ原案を固守。問題解決のためには、市民団体が合理的な代案を出す必要があります。

合理的な開催、持続可能なオリンピック・ムーブメント、最小限の環境破壊となるためには、より多くの努力を必要とします。そして、五輪後に施設がどのように管理され、補修されていくのか、市民団体は積極的に監視しなければなりません。

最初の頃は、環境団体と市民団体間の連帯不足で、対応が遅れてしまったのは仕方ありません。今後は、市民団体による継続的な監視と国内外の連帯が必要です。特にオリンピックのようなメガ・スポーツイベントの場合は、環境団体、体育市民団体および国外市民団体間の連帯が極めて重要だと思います。

つづきは本誌にて